



高精度な時空間測定を実現する光周波数コム技術

◇日時： 2023年7月27日(木) 13:00~17:25

◇場所： NICTイノベーションセンター(東京日本橋タワー) + Zoom

光のものさしと呼ばれる光周波数コムは、その高い精度により周波数標準として採用される等、現在では必要不可欠な技術になっています。標準技術に限らず、光周波数コムが持つ特徴を利用して、形状計測や光通信等の様々な技術分野での利活用が進んでいます。

今回の研究例会では、光周波数コムをメインピックとして、光周波数コムで実現できる高精度な最先端の測定技術に加えて、近年注目されている光源デバイス技術を特集します。本研究分野の研究・開発の第一線で活躍されている研究者の皆様に招待講演をお願いいたしました。

応用電子物性分科会 幹事長 挨拶 (13:00-13:05)

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 光周波数コムがもたらす光の自在制御・操作技術と多彩な応用展開 | 美濃島 薫 (電通大) |
| 2. 光コムを用いた精密周波数計測技術とその応用 | 洪 鋒雷 (横国大) |
| 3. スキャンレス蛍光寿命ディアル光コム顕微鏡 | 安井 武史 (徳島大) |

15:05-15:25 休憩

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 4. 電気光学変調型光コム発生器を用いた計測装置 | 今井 一宏 (XTIA) |
| 5. 微小光共振器による光周波数コムの発生とB5Gへの応用 | 田邊 孝純 (慶応大) |
| 6. 半導体量子ドットを用いた光通信波長帯モードロックレーザ | 赤羽 浩一 (NICT) |

■協賛：電子情報通信学会光エレクトロニクス研究専門委員会(OPE), レーザ・量子エレクトロニクス研究専門委員会(LQE)

■受付：[こちら](http://annex.jsap.or.jp/ohden/)より事前登録をお願いいたします。http://annex.jsap.or.jp/ohden/

■参加費(テキスト代・消費税込)：

応用電子物性分科会会員 3,000 円

応用物理学会会員(分科会非会員) 7,000 円

応用物理学会会員(シニア会員) 2,000 円

一般 12,000 円, 一般学生 2,000 円

*応電分科会の賛助会員の方は1社につき1名まで無料。2名以上は通常通りの参加費。

■問合せ先：

諸橋 功 (NICT)

E-mail: morohashi@nict.go.jp

山田 泰裕 (千葉大)

E-mail: yasuyamada@chiba-u.jp

山口 敦史 (金沢大)

E-mail: yamaguchi@neptune.kanazawa-it.ac.jp

小田 康代 (応用物理学会 事務局)

E-mail: divisions@jsap.or.jp TEL: 03-3828-7723(直通)